



2026
8 がつごう

AI月報

5分で読めて、
1つ話せるネタになる。

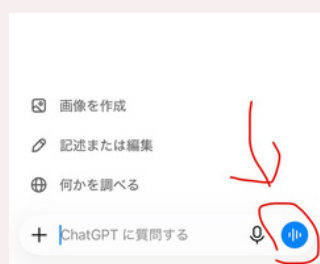


GPT-Liveがすごすぎる…

ChatGPTの新しい音声機能「GPT-Live」による会話はもう試しましたか？

今月一番驚いたのはこれです。AIとの音声会話が新しくなり、「AIと話している感」がほぼ消えました。こちらが言いよどんでも、途中で話を変えても、自然に付いてくる。相槌のタイミングまで人間らしい。

私のおすすめの使い方は「**事業の壁打ち**」です。「ウチの客層、本当は誰なんだろう」「この新サービス、いくらで出すべきか」——そんな独り言を、そのままAIに投げてみてください。質問で返してくれるので、話しているうちに自分の考えが整理されていきます。ドライブ中や散歩しながらの30分で、会議3回分くらい進みます。



ChatGPTのアプリを開いて、右下の青いマークを押したら会話できるようになります。

会話の終了後、やり取りが残っているので議事録を作ったり資料をPDFで作らせたりなんかもできちゃいます。便利すぎ。



さらに応用！

壁打ちがそのまま販促物になる？！

壁打ちで話した内容は、そのままサイトやチラシの原稿になります。あなたが自分の言葉で語った事業への想いを、AIに「これでサイトを作り直して」と渡すだけ。今までより詳細で、鮮明に、あなたの伝えたいことが反映されます。

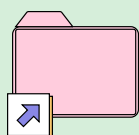
今までは「構想はあるけど言葉にできない」「制作会社に伝わらない」で止まり、サイトに反映されるまで何ヶ月もかかっていました。これからは、AIと会話して、その内容をそのままChatGPTにコーディングしてもらるか、Claude Codeなどの開発AIに渡すだけ。**構想から公開までが「会話の延長」**になります。

＜音声AIを使った一例＞

AIと話す



ファイル保存



ファイルを参考に
AIがコーディング



理想のサイト完成！



つまりこれからは、「どれだけAIとうまく会話できるか」の勝負になる——かも?!



実際にAI使ってやってみたことレポート



AIに会社の記憶を持たせて制作のブレをなくした

GPT-Liveで壁打ちした内容を、そのつどテキスト（markdown形式）で保存。それを**Obsidian**というメモアプリに貯めて整理し、会社の方針・サービス内容・こだわりを全部インプットさせました。さらにこれを**MCP**という仕組みでClaude Codeなどの開発AIにつなぐと——①話す（ChatGPT-Liveで壁打ち）→②貯める（markdownで保存しObsidianで整理）→③つなぐ（MCPでClaude Code等に接続）→④作る（方針に忠実な制作物が完成）
AIが半永久的なメモリ＆会社のOSとして働くので、サイトでも資料でも「会社の方針とあなたのやってほしいこと」に忠実なものが上がってきます。**毎回イチから説明し直す必要＆やり直しがない**。これは社員に引き継ぎ書を渡す感覚に近いです。

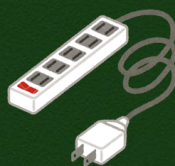
POINT



例えば会社のイメージキャラクターのデザインを定義し、それをobsidianに保存→chatGPTで画像生成することで**絵のタッチや特徴を忠実に再現**したキャラクターを量産できます。チラシのワンポイントに使ったり、ブログのアイキャッチ画像など汎用的に使えます。

1分でわかる

今月のAI用語



・MCP（エムシーピー）

AIと他のソフトをつなぐ「共通コンセント」のような仕組み。

上記のレポートはこれを使っています。

他にも会計ソフト、メモアプリ、顧客管理——コンセントに挿すように次々つながるので、「AIに何ができるか」は今この瞬間も増え続けています。

<編集後記>

本格的に夏ですね。暑すぎる。

元高校球児の面影はどこへやら、7月後半は熱中症からの不調が続いてダラダラと生きてしまいました。そんな親のコンディションとは対照的に夏休みに突入した子どもらのエネルギーは凄まじいです。「どうすれば自分が疲れ果てることなく、彼らを疲れ果てさせることができるだろう？」を毎日考えるのがタスクになっています。誰かいい方法を教えてください笑